

# 株 主 通 信

## 第7期 報告書（上半期）

平成23年4月1日▶▶▶平成23年9月30日



### CONTENTS

---

● 株主の皆様へ .....	1
● 財務ハイライト .....	2
● セグメント情報 .....	3
● トピックス .....	4
● 四半期連結財務諸表 .....	5
● 会社情報 .....	6

---

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社第7期報告書（上半期、平成23年4月1日～平成23年9月30日）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループを取り巻く環境は、国内では東日本大震災の影響により低下していた自動車生産は、期半ばから急速に回復し、期末にはほぼ震災前の水準となりました。一方海外は、アジア地域では物流量が減少に転じましたが、欧米では金融不安があったものの物流量は底堅く、総じて堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは「変革への挑戦を続け、グループの更なる進化をめざす。」というビジネスプランの基本方針の下、企業体質の強化を図るとともに、営業力を高めて新たな成長をめざし、顧客志向に基づく商品力・マーケティング力強化に注力し、ロジスティクスとフォーワーディングの融合の深化によるハイブリッドなビジネスモデルの展開、主力事業である自動車部品物流における海外市場での展開の加速および非自動車分野における国内3PL大型案件の受注拡大に取り組んでまいりました。その具体的な取り組みとして、非自動車分野においては当社の関西地区では最大規模の面積を有する大阪物流センター（大阪市西淀川区）を開設し、自動車分野では九州地区の業務拡大に対応するため九州第6物流センター（福岡県京都郡）開設の準備を進めております。海外では、インド・チェンナイに新たな倉庫が完成し、インドネシアにおいて新会社を設立する準備を開始いたしました。

この結果、売上高は前年同期比18億84百万円増（2.8%増）の682億61百万円となりました。営業利益は前年同期比1億82百万円増（6.1%増）の31億62百万円、経常利益は前年同期比1億52百万円増（5.0%増）の32億25百万円となり、四半期純利益は前年同期比3億円増（19.5%増）の18億42百万円となりました。

今後につきましては、長引く円高や株価の低迷、電力供給の制約や欧米の経済不安などの懸念が山積しており、予断を許さない状況が続くものと予想されます。当社は、企業スローガンにあるように「物流を科学する」を実践することで、日立物流グループの一員として、システム物流（3PL）及びグローバル事業において、早期のシナジー効果を実現し、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、従来と変わらぬ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

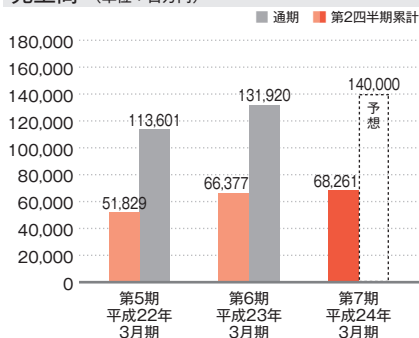


代表取締役社長  
小山 彰

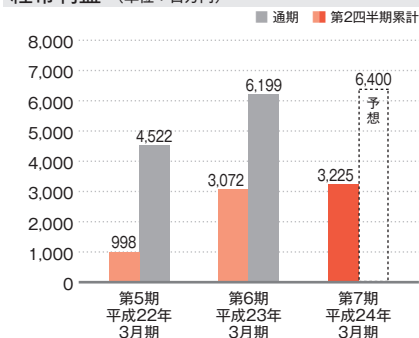
平成23年12月

		第5期 (平成22年3月期 第2四半期累計期間)	第5期 (平成22年3月期)	第6期 (平成23年3月期 第2四半期累計期間)	第6期 (平成23年3月期)	第7期 (平成24年3月期 第2四半期累計期間)
売上高	(百万円)	51,829	113,601	66,377	131,920	68,261
経常利益	(百万円)	998	4,522	3,072	6,199	3,225
四半期(当期)純利益	(百万円)	758	2,488	1,542	2,259	1,842
純資産額	(百万円)	23,327	24,222	24,241	24,377	25,834
総資産額	(百万円)	66,169	68,456	70,389	67,562	62,499
1株当たり純資産額	(円)	96,187.83	100,876.46	103,041.19	103,386.13	109,594.61
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	3,189.64	10,495.94	6,631.87	9,765.75	7,992.58
自己資本比率	(%)	34.6	34.7	33.7	35.3	40.4

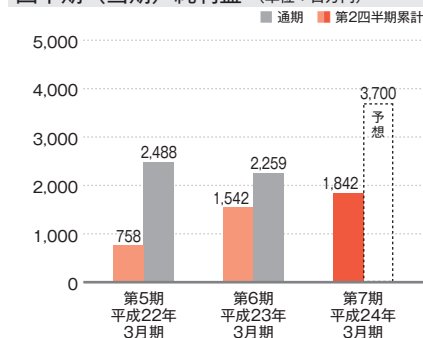
売上高 (単位:百万円)



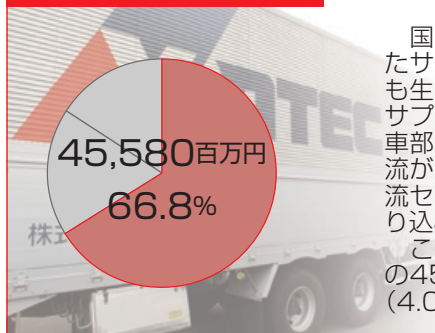
経常利益 (単位:百万円)



四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



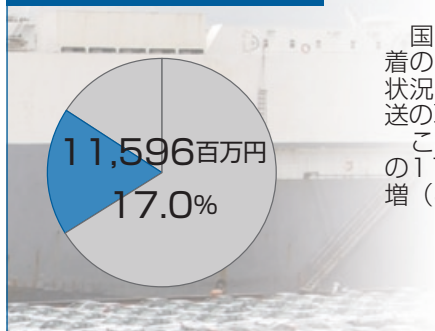
## 国内物流事業



国内物流事業につきましては、期前半では東日本大震災により寸断されたサプライチェーンの影響は広範囲かつ甚大であり、自動車産業においても生産が一時停止するなどその影響を大きく受けました。一方期後半にはサプライチェーンの早期回復による自動車生産の復調を背景として、自動車部品の工場間輸送、KD梱包作業及び完成車船積みなどの自動車関連物流が、全般的に堅調な荷動きとなりました。また流通関連物流では大阪物流センターが本年4月に稼働を開始し、関西地区における食品物流需要の取り込みを図りました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比16億21百万円増(3.7%増)の455億80百万円、営業利益につきましては、前年同期比76百万円減(4.0%減)の18億25百万円となりました。

## 国際物流事業



国際物流事業につきましては、世界的に不安定な経済情勢により日本発着の輸送需要は航空・海上ともに減少したものの、航空運賃が落ち着いた状況で推移するとともに期初を中心にサプライチェーン寸断に伴う緊急輸送の取り込みを図りました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比3億92百万円減(3.3%減)の115億96百万円、営業利益につきましては、前年同期比1億64百万円増(33.1%増)の6億59百万円となりました。

## 海外物流事業



海外物流事業につきましては、アジアでは自動車の現地生産拡大による自動車部品のロジスティクス、フォーディングが増加したものの、主に中国での物価上昇に伴うコスト増や、航空貨物の海上輸送へのシフト等による航空貨物輸送量の減少など、やや厳しい状況で推移いたしました。

一方欧米では欧州における好調な自動車生産によるロジスティクスの増加、並びに米州・欧州からの新興国向けを主体とした航空貨物輸送量の増加などにより、好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比6億55百万円増(6.3%増)の110億84百万円、営業利益につきましては、前年同期比93百万円増(16.0%増)の6億77百万円となりました。

### トピックス①

#### インド・チェンナイに新倉庫開設

当社グループのバンテック ロジスティクス インディアは、拡大するインドでの自動車産業に対応するため、チェンナイ近郊に新倉庫を開設いたしました。新倉庫はインド国内では2番目の倉庫となり、自動車メーカー及び自動車部品サプライヤーの輸出入の拠点となります。また、インド国内の部品サプライヤーから自動車メーカーへの部品供給を担当いたします。

新倉庫は鉄筋構造平家建で延床面積は約30,000m<sup>2</sup>。この新倉庫開設に伴い、インドでのバンテックグループの倉庫面積は一気に4倍となりました。

10月12日に当社からは社長の小山をはじめとする関係者が出席し、また大勢のご来賓を招いて、現地で開所式が行われました。



### トピックス②

#### インドネシアに新会社を設立することを決定

当社は、インドネシアでの自動車生産の拡大に対応するため、インドネシア国内に新会社を設立することを決議し、設立の準備を開始いたしました。

新会社は当社80%、インドモービルグループ20%の合弁会社であり、名称はバンテック インドモービル ロジスティクス (PT. VANTEC INDOMOBIL LOGISTICS)、所在地はジャカルタから南東75kmの西ジャワ州プルワカルタ県で、来年1月に設立の予定です。

新会社では主に自動車メーカーの調達物流と部品メーカーの自動車メーカーへの納入代行を行い、そのために来年11月の稼働を目指して約25,000m<sup>2</sup>の建物(倉庫・事務所等)を建設します。また、従業員は60名程度からスタートし、4~5年後には160名程度になるものと見込んでおります。



■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	30,390	35,407
固定資産	32,094	32,138
有形固定資産	23,910	23,878
無形固定資産	3,651	3,883
投資その他の資産	4,532	4,376
繰延資産	13	16
資産合計	62,499	67,562
<b>負債の部</b>		
流動負債	28,229	31,138
固定負債	8,435	12,046
負債合計	36,664	43,184
<b>純資産の部</b>		
株主資本	26,883	25,475
資本金	3,868	3,868
資本剰余金	13,793	13,789
利益剰余金	11,431	10,050
自己株式	△2,210	△2,232
その他の包括利益累計額	△1,603	△1,647
その他有価証券評価差額金	53	60
為替換算調整勘定	△1,657	△1,708
少数株主持分	555	549
純資産合計	25,834	24,377
負債純資産合計	62,499	67,562

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 (累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期 (累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	68,261	66,377
売上原価	61,363	59,241
売上総利益	6,898	7,136
販売費及び一般管理費	3,735	4,156
営業利益	3,162	2,979
営業外収益	156	218
営業外費用	94	125
経常利益	3,225	3,072
特別利益	25	27
特別損失	20	340
税金等調整前四半期純利益	3,230	2,759
法人税等	1,355	1,152
少数株主損益調整前四半期純利益	1,874	1,607
少数株主利益	32	65
四半期純利益	1,842	1,542

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 (累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期 (累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	152	1,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△637	△2,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,650	△73
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	△178
現金及び現金同等物の増減額	△7,095	△1,248
現金及び現金同等物の期首残高	12,429	12,022
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加高	—	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,334	10,775

■ 会社概要 (平成23年9月30日現在)

商 号 株式会社バンテック  
VANTEC CORPORATION

本店所在地 〒221-0022  
神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目13番地1

本社所在地 〒210-0024  
神奈川県川崎市川崎区日進町1番地14  
キューブ川崎  
TEL：044-233-9801 FAX：044-233-9735

設 立 平成18年3月1日

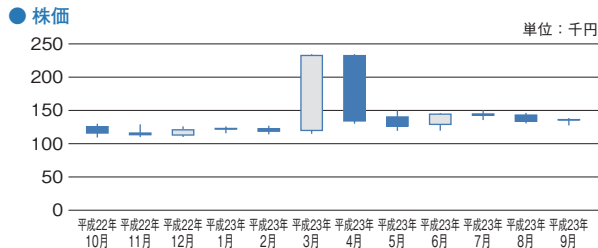
資 本 金 38億68百万円

従 業 員 数 891名 (グループ従業員数 5,409名)

■ 役員の状況 (平成23年9月30日現在)

取締役会長	山田 敏晴	常務執行役員	高木 史朗
代表取締役社長	小山 彰	常務執行役員	大崎 健一
代表取締役専務執行役員	長谷川伸也	執行役員	岩崎 博
取締役専務執行役員	岡部 則夫	執行役員	中村 好朗
取締役専務執行役員	般若 真也	執行役員	西村 淳
取締役	山口 光雄	執行役員	村田 和幸
監査役	勝田 裕二	執行役員	山崎 隆一
監査役	田村 和俊	執行役員	並木 恭輔
監査役	原田 恒敏		
監査役	関山 哲司		

● 株価・出来高の推移



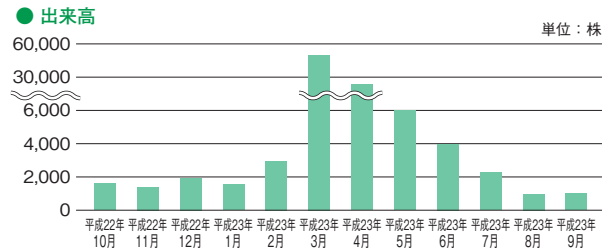
■ 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数 800,000株  
発行済株式の総数 247,371株  
株主数 2,786名

● 大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
株式会社日立物流	209,550	90.12
資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)	1,871	0.80
山田 敏晴	1,432	0.62
株式会社啓愛社	1,000	0.43
高橋 新	896	0.39
バンテックグループ従業員持株会	875	0.38
小田 順理	834	0.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	771	0.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	688	0.30
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジェイビーアール ディ アイエスジー エフイーイーエイシー	674	0.29

(注) 1. 発行済株式の総数には、自己株式14,837株を含んでおります。  
2. 持株比率については、自己株式を控除して計算しております。



## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日～3月31日
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
剰余金配当の基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
（郵便物送付先） （お問い合わせ先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-288-324
公告方法	当社ホームページに掲載します。 ( <a href="http://www.vantec-gl.com/">http://www.vantec-gl.com/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告を することができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部

### 株式に関するお手続きについて

- ・住所変更等、株式に関する各種お手続きは、株主様が口座を開設されている証券会社等へお願いいたします。
- ・株券電子化前に「はふり」（株式会社証券保管振替機構）へ株券を預託されなかった株主様の株式につきましては、特別口座で管理されております。特別口座に関する各種お手続きは、従来どおり、みずほ信託銀行へお願いいたします。
- ・未払配当金のお受取りにつきましては、みずほ信託銀行でお取り扱いいたします。



本店 〒221-0022  
神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目13番地1  
本社 〒210-0024  
神奈川県川崎市川崎区日進町1番地14 キューブ川崎  
TEL：044-233-9801（代） 受付時間：9:00～17:00（土曜日、日曜日、祝祭日は除く）

